

アジア国際社会福祉研究所 kara

No.14 2018.7.2

編集・発行責任者 秋元 樹

IASSW「ソーシャルワークにおける倫理原則のグローバル声明」(案)が公表されています

アジア国際社会福祉研究所は国内外組織に貢献しています

国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)は先に「ソーシャルワークにおける倫理原則のグローバル声明」(案)を発表、すでにパブリックコメント募集期間は終了していますが、このたび日本語暫定訳を公表しました。(<https://www.iassw-aiets.org/wp-content/uploads/2018/04/Japanese-Global-Social-Work-Statement-of-Ethical-Principles.pdf>)

声明は7月5日のIASSW総会(アイルランド・ダブリン)において採択される予定です。声明には、世界のソーシャルワークの担い手たちに求められる倫理について多くの有益な情報が含まれています。「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」と同じように世界各国・地域で展開されていくことが予想されます。日本ソーシャルワーク教育学校連盟(ソ教連)のホームページにもアップされていますのでぜひご一読ください。(<http://socialworker.jp/category/news/>)

なお、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)からも同じタイトルの声明(案)が二つ出されております。二つの国際団体間での合意は当面まとまりそうもありません。

アジア国際社会福祉研究所には、ソ教連からの国際に関する様々な情報が届いています。また、ソ教連国際関係委員会の一員として国際関連プログラムの企画・運営、IASSW 及びアジア太平洋ソーシャルワーク教育連盟(APASWE)の活動協力及び情報提供支援を通じ様々な貢献をしています。今回の日本語暫定案作成にも貢献しま

した。

また、ソ教連国際関係委員会は「国際社会福祉教育アンケート調査」を実施しました(2018年1-2月)。調査には150件(全会員校282校)から回答が寄せられ、そのうち3分の1を超える54校が「国際福祉に関する科目」を現在既に開設していることがわかりました。その他多くの大学が国際福祉に関する教育の必要性や重要性を感じている旨回答しています。詳しい集計結果は今後国内外に公表される予定です。

当研究所が国内外組織への貢献で得た最新情報につきましては、これからもkaraを通じて提供して参ります。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。